

北区の部屋だより

第51号

2013年 10月



刊行物登録番号 24-2-070

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 25 年 10 月発行

北区こぼれ話 第50回

くずし字が読める江戸時代 の人は、頭がいい?!



江戸時代の古文書の解読講座を行っていると、「昔の人はよくこんなのを読めたね」「頭いいね」といった受講者たちの感想を耳にします。確かに御家流（※）の草書体で書かれた文字は、知らないとなんか。例えば、みなさんは図で示した文字を読めるでしょうか。

正解は、北区の「北」です。

では、江戸時代の人たちは、どうしてこうしたくずし字をスラスラ読むことができたのでしょうか。その答えに対する一つの考え方として、当時の人たちは「北」を「」というかたちで覚えていただけだというのがあると思います。「北」を「」のようにくずして書く、と覚えるのではなく、「きた」ってどう書くのと聞かれれば、何の迷いもなく「」と書いたという考え方です。逆に言えば、江戸時代の人、特に庶民は、楷書で書かれた「北」という字を「きた」と読めたかどうか疑わしいのかもしれません。

明治 7 年（1874）、滝野川村正受院の住職が明治政府に対し、維新以来、布告の書類が「漢字」になり、「倭字」に慣れている村々ではこれを読むことが難しいといった内容の建白書を提出しています。「倭字」を文字通り仮名文字と解釈することも可能ですが、江戸時代のお触書きも漢字で書かれていることを考えると、「倭字」を江戸時代のようにくずし字と理解することができないでしょうか。すなわち、くずし字で覚えていたのに、急に活字のような楷書の字で布告が廻ってくるようになり読めなくなったというのです。

そもそも、村の寺子屋などでは、御家流で書かれた手本を真似て書くことで字を覚えていきました。したがって、急に字体が変わって「北」と書かれて困惑したというのも、あながち的外れな理解ではないと思います。

現在、「」を「きた」と読める江戸時代の人たちをすごいと思うのと同じレベルで、江戸時代の人たちから見れば「北」を「きた」と読める私たちのことをすごいと思うのかも知れません。

※尊円法親王が起こした書の流派。青蓮院流。

【北区の部屋・地域資料専門員 保垣 孝幸】

荒川の鉄橋が傾いた日

— 関東大震災から90年、
鉄道の被災を振り返る —

期間：9月27日（金）～10月23日（水）

場所：「北区の部屋」企画展示コーナー



大正12年9月1日の関東大震災により傾いた東北本線荒川橋梁
『大正十二年 鉄道震害調査書』
（鉄道省、昭和2年）より

今月の講演会

主催：中央図書館
企画運営：北区図書館区民の会
地域資料部

募集中講演会

公開歴史講座

「北区の歴史はじめての一步」を10倍楽しむ

中央図書館が発行した北区史入門書『北区の歴史はじめての一步』の編集により浮かび上がった新事実や裏話を執筆者が楽しくお話しします。

（内容は近現代）

日時：11月9日（土）午前10時～12時

場所：中央図書館3階ホール

講師：黒川徳男地域資料専門員

対象：中学生以上

申込方法：往復はがき

希望講座名、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号（Fax番号）

※在勤・在学の方は、勤務先学校名、学年明記
視覚障害者の方は電話申込可、手話通訳が必要な方は事前にご連絡ください。

締切：10月25日（金）必着

申込・問い合わせ先：中央図書館事業係

〒114-0033 北区十条台1-2-5

電話 03-5993-1125

詳しくは10月10日号の北区ニュースをご覧ください。

北区における国立印刷局の紙幣製造事業

～明治初期の創設、昭和初期の転換、そして現在～

お札と王子と滝野川

日本のお札を製造している国立印刷局は、北区に2つの工場を持っています。王子工場は明治9年に製紙工場として、滝野川工場は昭和5年に印刷工場として建設されました。王子工場で開発された紙幣用紙の独自性とは？上空から見るとPの形をした滝野川工場の設計意図とは？印刷局の事業・施設の歴史、そして現在のお札についても解説します。



画像提供 お札と切手の博物館

日時 10月12日（土）午後2時～4時
講師 独立行政法人 国立印刷局 お札と切手の博物館
学芸員 川仁 央 氏
会場 北区立中央図書館 3階ホール
定員 50名（抽選） ※対象 中学生以上

お席に若干の余裕がございます。

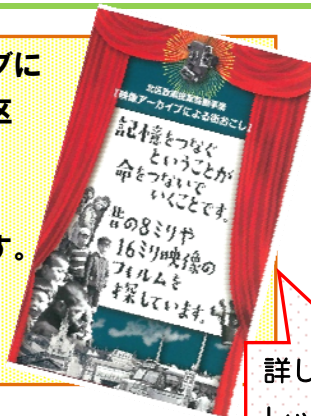
参加ご希望の方は、中央図書館事業係までご連絡下さい。

先着順。（電話 03-5993-1125）

北区政策提案協働事業「映像アーカイブによる街づくり」とは、失われつつある北区の昔の風景などを発掘・公開することを目的に地域団体（フロンティア21）と区（図書館・博物館）が協働で行う事業です。



情報をお寄せ下さい。



詳しい説明パンフレット配布中!

昭和60年（1985年）以前に撮影されたと思われる、北区が映っている8ミリ・16ミリフィルムを探しています。みつかった北区の映像はDVD変換後、図書館で公開していきます。



北区の部屋だより

第52号

2013年 11月



刊行物登録番号 24-2-070

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 平成 25 年 11 月発行

北区こぼれ話 第51回

引き込み線に通勤電車が走る？ —^{すが} 幻の須賀線国電化構想 —



昭和29年（1954）1月14日『読売新聞』に、北区役所が須賀線への国電乗り入れの構想を練っているという記事が掲載されています。「あんな短い区間に！本当か？」と思い確認したところ、17日には『毎日新聞』そして19日にも『朝日新聞』が記事にしています。須賀線とは、区内にあった国鉄の引き込み線の一つで、王子付近から分岐し、豊島五丁目の日産化学王子工場内にある須賀駅（貨物駅）へ向かう路線でした。

これらの新聞記事によれば、須賀線への国電乗り入れ計画は、つぎのようなものでした。当時、王子から豊島の工場へ向かうバスはとても混んでおり、また、神谷方面に向かう赤羽行きの都電の混雑もひどかったと言います。一方、須賀線は、貨物列車が1日4往復する程度でした。北区が依頼した国鉄専門家によれば、須賀線に4両編成の電車を走らせることは技術的に可能であり、採算も合うというのです。そして、王子駅と須賀駅の間には、途中駅として王子四丁目と豊島六丁目（または七丁目）の2駅を置く構想でした。当時の国鉄貨物路線図によれば、王子と須賀の駅間距離は約2.5キロですから、単純に計算して平均駅間距離は約800メートルです。これらの駅では、十条製紙の従業員や、東京成徳学園などの生徒の利用が見込まれるとあります。沿線人口も、予想乗車率も問題なしと言ったところでしょう。全線の所要時間は7分。単線のため、中間駅に線路を増設し、すれ違いを可能とします。朝夕は15分間隔、日中は30分間隔での運行を見込んでいました。工場街への引き込み線による通勤という点では、京浜工業地帯を走る鶴見線を小さくしたようなイメージでしょうか。

記事には、すでに区議会土木委員会の了解を得たとあり、企画室が中心となって各種資料を作成した上で、東京鉄道管理局に陳情するなどの運動を進めるとあります。その後、計画がどの程度まで進み、どのように消えていったのかは明らかではありません。

歴史に「もしも」は無いと言いますが、もし、この計画が実現していたら、その後に建設された豊島五丁目団地や王子五丁目団地から大勢の通勤通学客を運んだことでしょう。

【北区の部屋・地域資料専門員 黒川徳男】



須賀線を走っていた凸型電気機関車
EB10 府中市郷土の森公園内交通
遊園で保存

今月の展示

企画：北区図書館活動区民の会
地域資料部

中央図書館で行われた歴史講演会
「おれと王子と滝野川 北区にお
ける国立印刷局の紙幣製造事業」
(10月12日(土)開催)に関連し
た展示です。
北区における紙幣製造事業の歴史
をお楽しみください。

「北区における国立印刷局の紙幣製造事業」

期間：10月25日(金)～11月27日(水)

場所：北区の部屋展示コーナー

今月の講演会

公開歴史講座

「北区の歴史はじめての一步」を10倍楽しむ

中央図書館が発行した北区史入門書『北区の
歴史はじめての一步』の編集により浮かび上がった
新事実や裏話を執筆者が楽しくお話します。
(内容は近現代)

日時：11月9日(土) 午前10時～12時

場所：中央図書館3階ホール

講師：黒川徳男地域資料専門員

対象：中学生以上

お席に若干の余裕がございます。

参加ご希望の方は、中央図書館事業係(電話
03-5993-1125)までご連絡下さい。先着順。

北区の歴史はじめての一步(北区立中央図書館発行)

北区を7地区(赤羽東・赤羽西・王子東・王子西
滝野川東・滝野川西・浮間地区)に分けて、それぞ
れの地域の歴史について解説した入門書です。
写真や図版を多く取り入れ、小学生にも分かりやす
い内容です。巻末の地域マップは史跡散歩にもお役
に立ちます。北区内図書館で貸出しているほか、
下記にて1冊300円で販売もしています。

販売場所：中央・滝野川・赤羽図書館

飛鳥山博物館・区政資料室(北区役所第一庁舎内)



映像でよみがえる昭和の北区

第1回上映会

「あの頃、都電が走っていた!」



北区政策提案協働事業「映像アーカイブによる街おこし」

日時：11月30日(土) 午後2時～4時

場所：中央図書館3階ホール

上映内容：本郷3丁目行き都電の廃止、荒川小学校

大運動会、梶原銀座と子豚レースほか

解説：黒川徳男地域資料専門員

定員：60名(抽選)

申込方法：往復はがきかEメールで。

記入項目：講演会名、住所、氏名(ふりがな)



詳しい説明
パンフレッ
ト配布中!



北区政策提案協働事業「映像アー
カイブによる街づくり」とは、失わ
れつつある北区の昔の風景などを
発掘・公開し、地域の活性化に結び
つけることを目的に地域団体(フロ
ンティア21)と区(図書館・博物
館)が協働で行う事業です。

昭和60年(1985年)以前に撮影さ
れたと思われる、北区が映っている8ミ
リ・16ミリフィルムを探しています。
みつかった北区の映像はDVD変換後、
図書館で公開していきます。

北区の部屋だより

第53号

2013年 12月



刊行物登録番号 24-2-070

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 25 年 12 月発行

北区こぼれ話 第52回



月の名前 いしゅう ～月の異称の話～

今年も残すところ、あと 1 ケ月。みなさんも慌ただしい毎日が続いていることかと存じます。師匠も走り回る 12 月。師走^{しわす}とはよく言ったものです。

さて、みなさんは、月の異称についてどれくらい知っていますか。昔、古文の時間などで覚えさせられた睦月・如月・弥生・卯月……というやつです。江戸時代には、人々がこの月の異称の方を用いて生活していたと思われる人もいらっしゃるようなので、今回は月の異称の話を少し。

そもそも、月の異称は非常に多く、冒頭で示した睦月・如月・弥生……とかいうのは、その最も代表的なものでしかありません。例えば 12 月でいえば、師走^{しわす}・極月^{ごくげつ}・臈月^{ろうげつ}・茶月^{さげつ}・親子月^{おやこづき}・除月^{じょげつ}・暮冬^{ぼとう}・暮歳^{ぼさい}など、全て 12 月のことを示しています。これでもまだ一部であり、各月ごと異称の代表的なところを示すだけで 20 近くに上ります（興味ある人は、『北区史 資料編近世 1』610 頁の「月の異称一覧」をご覧ください）。

では、江戸時代の古文書等に出てくる月の表現について、現代と違うところを中心に紹介すると、まず 1 月ですが「正月」と記されます。これは異称という問題ではなく、江戸時代は 1 月のことを「正月」といいました。三が日や松の内だけではありません。ひと月まるまる「正月」です。2 月から 10 月にかけては、異称で表現されることは稀で、ほぼ今と同じように数字で表現されます。11 月は、数字で表現されることの方が多いのですが、たまに「霜月^{しもつき}」と記されているものを見受けます。12 月については、「十二月」と記すもの、「極月」と記すものが半々ぐらいでしょうか。「師走」は、ほとんど目にすることはありません。ざっと紹介するとこんな感じでしょうか。

とは言え、睦月・如月・弥生……といった表現が無かったわけではありません。あくまで、日常的に使われていなかっただけだと思います。こうした月の異称は、今、私たちが使わなくなった昔の月の言い方という意味ではなく、あくまでも別の言い方。江戸時代でも月の異称なのです。



【北区の部屋・地域資料専門員 保垣孝幸】



もんじょかん
文書館へいこう！

期間：平成 25 年 11 月 29 日（金）～
12 月 28 日（土）

場所：「北区の部屋」展示コーナー

江戸時代の古文書を読みたい、そんな希望を叶えてくれる場所が「文書館」など各地域にある古文書保存機関です。

今回は、一見、敷居の高そうな各地の古文書保存機関、いわゆる「文書館」について紹介します。題して「文書館へいこう！」。

ご興味を持った方は、ぜひ文書館へ足を運んでみてください。

北区図書館活動区民の会企画・運営 小学生向けワークショップ

「親子で謎解き！中央図書館ナイトツアー」



対象：区内在住の小学生と保護者（必ず保護者同伴）

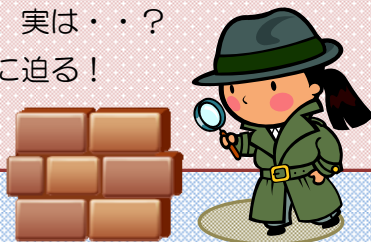
日時：平成 26 年 1 月 12 日（日）午後 4 時 45 分～午後 7 時

場所：中央図書館 3 階ホールに集合

内容：誰もいなくなった夜の図書館を大冒険。普段、何気なく利用しているこの場所は、実は・・・？

親子で謎を解きながら歴史の核心に迫る！

定員：20 組（抽選）

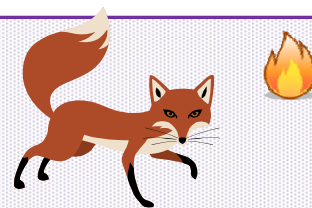


申込：往復はがき、または Fax で
12 月 10 日（火）～24 日（火）
（必着）まで。※Fax 用紙は、各図書館にあります。また、北区ホームページでダウンロードできます。

申込先：中央図書館事業係
〒114-0033 北区十条台 1-2-5
☎ (5993)1125 Fax(5993)1044

ご存知ですか？

王子狐の行列



年末の恒例行事となっている「王子狐の行列」をご存じだろうか？

初代歌川広重作『名所江戸百景』のうち、「王子装束系しょうぞくえいの木大晦日の狐火きつねび」と題した絵には、闇夜に包まれる田園風景の中、関東各地から集まった無数の狐たちと、その狐が灯す狐火によって照らし出される二本の榎が幻想的に描かれている。現在、北区で大晦日の夜に行われている「王子狐の行列」は、この絵から着想して始まった。

大晦日の夜、メイクを施した現代の「狐」たちが、各地から王子の地に集まってくる。かつての装束榎は、開発によって近くの稲荷社境内に移されており、（装束稲荷神社、王子 2 丁目）そこが現在の集合場所だ。新年を迎えると行列がスタート。およそ 1 時間をかけ、提灯を手にした「狐」たちが王子稲荷神社（岸町 1 丁目）へと向かう。神社に到着すると、神楽殿で「狐囃子かぐらでん きつねばやし」などが催され、全イベントが終了するのは元旦の午前 2 時。それでも、年々見物客も増加して、昨年はおおよそ 6 千人が沿道を埋め、大いに賑わったとのことだ。この「行列」じたいは、かつての行事を再現したものではなく、平成になって始まった新しい「イベント」であるが、今年で 21 回を数え、今では北区年末の風物詩となっている。ご興味のある方は、ぜひ、年末「狐」たちに会いに行ってみてはいかがだろうか。

北区の部屋だより

第54号

謹賀新年

2014年1月

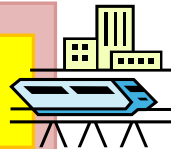


刊行物登録番号 24-2-070

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 26 年 1 月発行

北区こぼれ話 第53回

1965年 王子モノレールのまぼろし



「王子モノレール」と言うと、平成 21 年（2009）開業のあすかパークレール「アスカルゴ」を思い浮かべる方が多いと思います。飛鳥山のかわいいモノレールです。しかし、私が、ここで書こうとしているのは、本格的な都市交通としてのモノレール構想の歴史です。

昭和 30 年代後半以降、自動車が増え交通渋滞が問題となりました。当時、路面電車は、渋滞の原因として批判を受けました。昭和 40 年（1965）、都電廃止が検討される中で、日本モノレール協会は、新たな交通機関として王子モノレール構想を発表し、実現に向けて東京都知事に要望書を提出したのです。昭和 40 年 9 月 28 日の読売・朝日・毎日・産経・東京の各新聞（地方版）によれば、構想には A 案と B 案の二つがありました。A 案は、早稲田一大塚駅前―王子駅前―荒川車庫などを通り三ノ輪橋へ至るという、現在の都電荒川線と同じルートでした。一方、B 案は、国電との接続を重視するもので、起点を高田馬場駅前とし、面影橋から荒川線と同じルートをたどり、三ノ輪橋から先は、南千住駅前まで延伸するというものでした。経営主体としては東京都を想定しており、北区議会でも建設促進の決議をおこなっています。



アスカルゴ

王子モノレールの長所は、都電の平均時速が 8～12 キロメートルであるのに対し、25 キロと速いこと。踏切を全廃できること。横断歩道の安全性が高まること。都電に比べ音が静かなこと。3 分間隔で運転できること。一度に定員 130 人（満員時 200 人）まで運べることなどでした。このような利点は、後に建設された「湘南モノレール」や「多摩都市モノレール」さらに新都市交通システムの「ゆりかもめ」や「日暮里・舎人ライナー」とも共通していると言えるでしょう。しかも、都電の専用軌道を国に買い上げてもらい、新たに道路とすれば、安く建設できる計算でした。A 案は 173 億円、B 案は 164 億円の工費が予測されていましたが、敷地売却により 85 億円から 95 億円で済むのです。なお、モノレールには懸垂式（上野動物園など）と跨座式（東京モノレールなど）がありますが、これは跨座式とされました。



昭和 40 年代の飛鳥山付近を走る都電

その後、荒川線は、ただ一つの都電の路線として残されることになりました。そして、王子モノレールは実現せず、その構想も忘れ去られていきました。荒川線の存続はよいことですが、モノレールの車窓から区内を見下ろしてみたかったとも思いませんか。

【北区の部屋・地域資料専門員 黒川徳男】

今月の展示



映画館の栄華

—あの頃、お正月映画を観に行った場所—

期間:平成 26 年 1 月 5 日(日)~22 日(水)

場所:「北区の部屋」展示コーナー



滝野川映画劇場
(昭和 31 年・滝野川銀座)

今では、あまり使われなくなりましたが「お正月映画」という言葉がありました。渥美清さん主演、山田洋二監督の「寅さん」シリーズはその典型的なものでした。かつて、王子駅前や赤羽駅前には映画館街があり、十条や東十条、豊島、滝野川にも映画館がありました。今回の展示では、かつて北区にあった様々な映画館について振り返ります。お正月映画を見に行ったあの場所のなつかしい姿をご覧ください。



北区図書館活動区民の会

企画・運営 歴史講演会



1945年4月13日~14日

空襲は何をねらったか
—その目標・実態・被害—

日時:平成26年1月25日(土)

午後2時~4時

場所:中央図書館3階ホール

講師:東京大空襲・戦災資料センター
主任研究員 青木哲夫氏

定員・対象:50名

(抽選。区内在住・在勤の方優先)

申し込み方法:

往復はがき、またはファックス

【記入内容】希望講座名(希望日時) 郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号(ファックス番号)
在勤の方は勤務先記入

※本人以外やお子さん連れの受講はできません

※視覚障害のある方は電話申し込み可。

手話通訳が必要な方は事前にご連絡ください。

※北区ニュース12月20号に掲載あり。

申し込み先:北区立中央図書館事業係

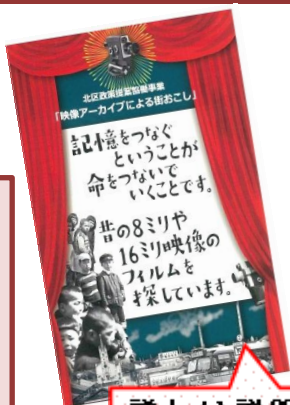
〒114-0033 北区十条台1-2-5

☎03-5993-1125 fax03-5993-1044



ご協力ください!!

昭和60年(1985年)以前に撮影されたと思われる、北区が映っている8ミリ・16ミリフィルムを探しています。見つかった北区の映像はDVD変換後、図書館で公開していきます。



詳しい説明
パンフレット
配布中!

北区政策提案協働事業
「映像アーカイブによる街づくり」とは、失われつつある北区の昔の風景などを発掘・公開し、地域の活性化に結びつけることを目的に地域団体(フロンティア21)と区(図書館・博物館)が協働で行う事業です。



北区の部屋だより

第55号

2014年2月



刊行物登録番号 24-2-070

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 平成 26 年 2 月発行

北区こぼれ話 第54回

王子権現で諸願成就?! 江戸時代の寺社参詣

新年を迎え、みなさんは初詣などに行かれましたか？これからの時期、志望校への合格祈願をはじめ、さまざまな願いごとをかかえて寺社へ参詣する人も多いのではないのでしょうか。

さて、時は^{さかのぼ}って江戸時代。文化・文政の頃（1804～1830）、江戸の人々は、レクリエーションを兼ねて、盛んに江戸郊外の寺社に参詣していました。当然、江戸時代の人たちも神仏の前で願いごとをしますが、その内容によってつかさどる神仏が異なっていました。すなわち、こういった願いごとをするかによって、参詣する寺社も異なっていたのです。そのため、どこに行けばどんなご利益があるのか？それこそ、自分の願いを叶えてもらうには、どこにお参りすればいいのか？よく分からない人も多かったのではないかと思います。

そんな人々の悩みにお応えすべく、文化 11 年（1814）に『江戸神仏願懸重宝記』が刊行されました。この本は、神仏の所在やそのご利益、さらには祈願のしかたまでを解説した案内書で、携帯に便利のように小冊子の仕立てになっています。この本のなかで、王子権現（現、王子神社）が取り上げられていますので、その内容をここで紹介しましょう。

王子権現は、毎年 7 月 13 日に祭礼が行われており、その際に神前に奉納された鎗を持ち帰り、翌年、また祭礼の際に前年持ち帰った鎗を持参して神前にある鎗と取り替えて持ち帰ると諸願が成就するとともに、とりわけ盗難除け、火事除けにご利益があったといわれています。さらに、この鎗の交換を毎年続ければ「心願成就」し、「家内息才（息災）」となると記しています。それこそ、願いごとが何でも叶うというのでしょうか。

では、初めて鎗を持ち帰ろうとする人はどうするのでしょうか。実は、この本には、そうした人のお参りのしかたも載っていて、初めて祭礼に参加するときには、道すがら小さな鎗を買い求めて奉納し、代わりに鎗を持ち帰るのだそうです。

王子権現の祭礼といえば、王子田楽が有名ですが、例えば『江戸名所図会』に描かれている王子田楽の挿絵でも、境内には鎗を持つ夥しい数の群集を確認することができます。こうした風習もあって王子権現の祭礼は、別名「鎗祭り」とも呼ばれていました。

【北区の部屋・地域資料専門員 保垣孝幸】

江戸名所図会より



今月の展示

北区図書館活動区民の会地域資料部 企画・製作



1945年4月13～14日空襲は何をねらったか
～ その目標・実態・被害 ～

期間:平成26年1月24日(金)～2月26日(水)

場所:「北区の部屋」展示コーナー

1月25日(土)北区図書館活動区民の会地域資料部会が企画・運営して行われた歴史講演会「1945年4月13～14日空襲は何をねらったか ーその目標・実態・被害ー」に関連した展示です。北区を含む城北地区が受けた、空襲の様子や関連冊子の展示をぜひご覧ください。

中央図書館 公開歴史講座

延宝検地
—「武州豊島郡岩淵領本宿村
御検地水帳」を中心に—

延宝元年(1673年)に岩淵宿で行われた検地を題材に、江戸時代の検地について紹介します。

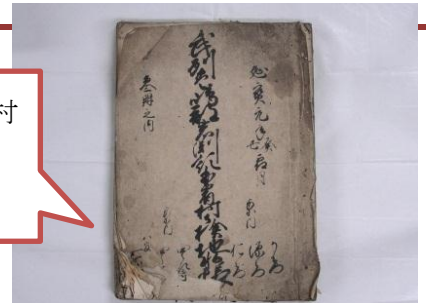
日時:平成26年3月8日(土)

午後2時～4時

場所:中央図書館3階ホール

定員:50名(抽選) 中学生以上

武州豊島郡岩淵領本宿村
御検地水帳
(旧岩淵宿佐野家文書)



申し込み方法:往復はがき希望講座名(希望日時)
郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号(ファックス番号)

※視覚障害のある方は電話申し込み可。

手話通訳が必要な方は事前にご連絡ください。

申し込み先:北区立中央図書館事業係

〒114-0033 北区十条台1-2-5

☎03-5993-1125 fax03-5993-1044

映像でよみがえる昭和
の北区 第2回上映会

北区政策提案共同事業
「映像アーカイブによる街おこし」



時間の旅 昭和30年代から現在へ

日時:3月1日(土)午後2時～4時

場所:北区飛鳥山博物館 講堂
(北区王子1-1-3 飛鳥山公園内)

申し込み:往復はがき、FAX、Eメールで

① 住所②氏名③年齢 4 連絡先(電話等)

2月15日(土)必着

問い合わせ・申込先

街づくり・フロンティア21

「第2回上映会」係

赤羽1-7-9 赤羽Meetsビル7階

[Eメール/info@frontier21.jp.net](mailto:info@frontier21.jp.net)

FAX 03(6369)4604

電話 03(3903)1171 (問合わせのみ)

北区政策提案協働事業
「映像アーカイブによる街おこし」とは、失われつつある北区の昔の風景などを発掘・公開し、地域の活性化に結びつけることを目的に地域団体(フロンティア21)と区(図書館・博物館)が協働で行う事業です。